男女共同さんかく通信④

～男女共同参画は毎日の生活にかかわる身近なものです～

皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。

問い合わせ先　総務課男女共同参画係（☎㉓５１１１内線１５９）

「女と男」の平等に向けた意識づくり

市の男女共同参画社会推進計画の基本目標の一つに「『女と男』の平等に向けた意識づくり」があります。既に男女平等の社会とされていますが、周りを見ると「男は仕事、女は家庭」というような意識が残っていたり、子育てや介護など女性の負担が大きくなったりしていませんか。

まずは、一人ひとりの意識を変えることが大事です。身近な家庭を振り返ってみましょう。

家事を分担しよう

共働きが多くなっている今、帰宅後の時間を家族で有意義に過ごせるように、できることを分担しましょう。はじめはできなくても、続けることが大事です。洗濯や料理、後片付け、子どもの世話など、お互いの状況に応じて助け合い、協力して、ともに家族の責任を担いましょう。

「自分らしさ」を大切にしよう

性別にとらわれず、人権と個性が認められ、「自分らしく」することを大切にしましょう。「男だから○○して当然」「女だから○○できるでしょう」と言われたり、言ったりしたことはありませんか。

服やカバンなども自分の好きな色のものを持ちたいものです。例えばランドセル。男だから黒、女だから赤と決めつけず、好きな色を選びましょう。

DVのない社会を実現しよう

DV（ドメスティック・バイオレンス）は、夫婦や恋人など親密な間柄で行われる暴力のことです。身体的なものや、精神的、経済的、性的などあらゆる暴力が含まれます。

身近なところで起こるDVを、社会全体で認識することが重要です。

ひとりで抱え込まないで、勇気を出して相談してみましょう。

DVについての相談先

▼婦人相談室（福祉課児童家庭係内☎㉓５１１１内線２５９）

▼DVホットライン（☎０１２０－８７－３０８１）

男女共同参画なるほどコラム

日常生活のいろいろな角度からとらえたコラムを紹介します。

（寄稿　NPO法人青森県男女共同参画研究所）

◇十人十色◇

幼いころ、よく兄の後にくっついて遊んでいました。当然やんちゃな遊びになります。それは怖かったけどスリルがあるからやめられません。屋根から飛び降りてみたり、チャンバラをしたり、おもいっきり走り回っていました。一方では、ままごとやお姫様ごっこもしていました。男も女も年齢も入り混じって遊んでいた、あのころが懐かしいです。

子どもは性別を気にしながら遊びません。相撲をとったり、かけっこをしたりみんな一緒に遊びます。その中には元気な子や、やさしい子、乱暴な子、おとなしい子も男女を問わずいます。

でも、いつのころからか「男でしょう」とか「女らしくしなさい」と言われるようになります。男性が泣き虫だったり几帳面だったりすると「男らしくない」と言われ、女性が大ざっぱだったり、手が不器用だったりすると「女らしくない」と言われます。

しかし、人間には個人差があります。料理は得意だが力仕事はちょっと苦手という男性もいれば、仕事はバリバリするが、家事は苦手という女性もいます。

十人十色、一人ひとりそれぞれ違うのですから、できることできないことが違うこともあるはずです。人間は多様な可能性を持っていると思います。「男らしさ・女らしさ」にとらわれることなく、自分らしく生きたいものですね。